



かわへ

議会報

第21号

-58・11・11-

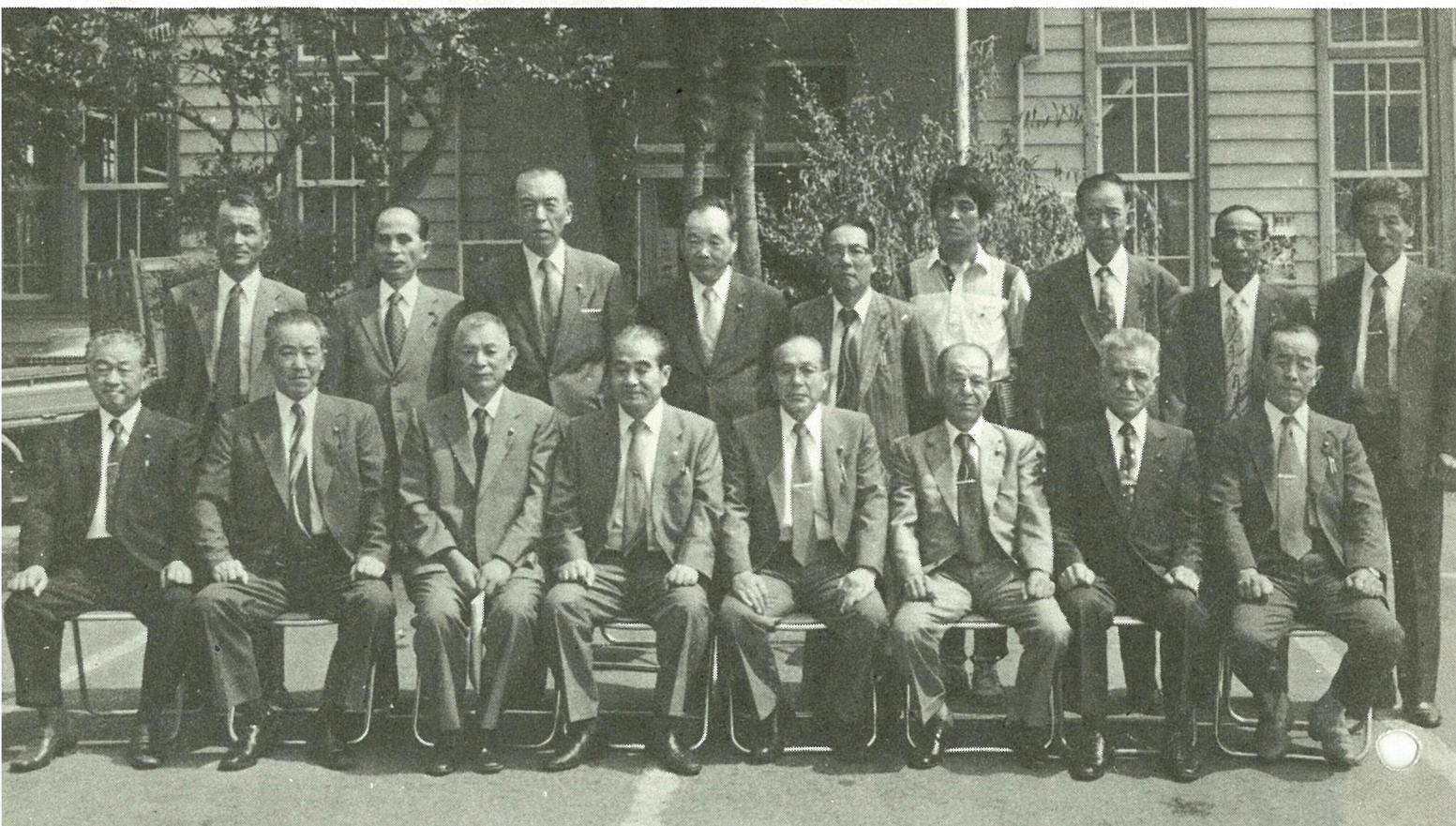
編集 議会報編集委員会

発行 川辺町議会

— 目 次 —

- 副議長就任あいさつ 2
- 新しい町議会構成決まる 2～3
- 九月議会で決めたこと 4
- 決算特別委員会報告 5

- 昭和57年度決算 6～8
- 一般質問 9
- 川辺町議会委員構成一覧表 10



議長就任あいさつ

議会議長



高井信孝

去る八月執行され新しく選出されました、議員による初の臨時議会により、不肖不図も議長の要職につくことになりました事は身に余る光榮で衷心より感謝をいたしておる次第でございます。

私浅学非才を顧れば、その器にも非ず心もとなく感じておりますが、折角のご推挙をいたしましたからには、皆様方の温かいご援助とご指導によりまして、町政の推進と円滑な議会運営のため懸命に努力いたす覚悟でございます。

今までに小学校等事業が遂行され、ただいまは二年計画で中学の改築が行われており、又B&G海洋センターも十月には着工の運びとなっております。いまだ庁舎等多くの事業が控えております。苦しい財政の中にも環境が良く豊かな暮らしができるよう、誠実、清潔で信頼される政治をと議員一同一丸となり万身の力をふりしぼって皆様のご期待に付すべくかたく覺悟いたしておる次第でござります。

町民皆様の格別なるご支援とご指導を賜わりますよう心からお願い申し上げはなはだ簡単ではございますが就任のごあいさつといった



|| 庁舎三階議場にて

副議長就任あいさつ



木下 静

いて誠心誠意努力する覚悟でございます。

新生川辺町として発足以来三

十年を経た現在においては、先輩諸氏のご功績により町行政の基盤は略築きあげられましたが、

九月六日第五回臨時町議会の役員選任にあたりまして議員各位のご推挙により、副議長の要職をお引き受けすることになりまししたが、その職責の重大さを痛感いたしております。

もとより浅学の私ごとき者がその任ではございませんが、幸い温厚にして人格卓抜なる高井議長のもとに及ばずながら女房役として関係各位のご加護を頂

ました。なにとぞ町民の皆様には格別のご指導とご鞭撻を賜わりますよう、切にお願いいたしまして就任のごあいさつといたします。

②議会副議長選挙結果
八票 木下 静
五票 桜井 道夫
一票 日下部信夫
一票 吉田 岩雄
白票 一票
計 十六票

新しい町議会構成決まる

議長
木下 高井 信孝氏
副議長
木下 静氏

昭和五十八年九月六日に開かれた第五回議会臨時会が開かれました。

最初に議会事務局長が、地方自治法第百七条の規定により、仮議長に渡辺節夫氏（最年長議員）を指名し、議長席に着いた後、開会の宣言をした。

日程第一に議長選挙に入り、無記名投票で高井信孝氏が議長に選任された。

①議会議長選挙結果

四票	高井 信孝
一票	古田 隆
一票	渡辺 節夫
無効	一票
計	十六票

教育委員会等の所管事項
例えは、予算、行財政、財産管理、選挙、人事及び給与、消防、交通安全対策、都市計画、広報、公害、統計、土地開発、学校教育、社会教育、学校給食センター、町税賦課徴収、諸証明の所管です。

委員長 井戸馬場
副委員長 高井岡田
委員 高井亨徳
要職隆古田

□土木委員会

土木課の所管事項。

つづいて高井信孝氏が議長席に着き、日程により議席の決定、会期の決定、会議録署名議員の指名を行なった後、副議長選挙に入り、木下静氏が選任されました。

昭和57年度 会計の決算を認定

第3回定例会

昭和57年度 決算特別委員長報告を承認

九月議会で決めたこと

昭和五十八年第3回定例会を九月十三日から二十日までの八日間開きました。

提出された議案は、人事案件四件、補正予算四件、決算の認定四件で、慎重に審査し、いずれも原案どおり可決しました。

あらまし

任期満了により次の方の選任に同意しました（再任）

山口武重

（役場産業課長）
木沢秀夫（再任）
広瀬光義（再任）

一般会計

十三日の本会議では、議案の質疑などを行い、二十日は一般質問のあと討論、採決を行いました。決算審査特別委員会は議会休会中の十四日、十六日の二日間に決算審査を行いました。

▼審議し決めたこと

◎ 教育委員の任命について
馬場亨氏が町議会議員に就任されましたのに伴い、次の方の任命に同意しました。

馬場周一

下吉田三五一一二二

大正十五年十二月六日生
同委員の矢田元雄氏を再任することに同意しました。

◎ 固定資産評価審査委員会委員の選任について（新、再任）
任期満了により次の方の選任に同意しました。

名）

学識経験を有する者（十

大脇寿伸（再任）

馬場隆雄（再任）

西垣兼茂（再任）

鈴木百夫（再任）

二、学識経験を有する者（二

名）

武市隆雄（再任）

馬場周一

下吉田三五一一二二

大正十五年十二月六日生
同委員の矢田元雄氏を再任することに同意しました。

◎ 農業共済事業損害評価会委員の選任について（新、再任）
任期満了により次の方の選任に同意しました。

名）

馬場亨氏（再任）

西垣兼茂（再任）

鈴木百夫（再任）

一、町との間に共済関係を有する者（二名）

西垣兼茂（再任）

鈴木百夫（再任）

二、学識経験を有する者（二

名）

馬場周一

下吉田三五一一二二

大正十五年十二月六日生
同委員の矢田元雄氏を再任することに同意しました。

◎ 農業共済事業損害評価会委員の選任について（新、再任）
任期満了により次の方の選任に同意しました。

名）

馬場周一

下吉田三五一一二二

大正十五年十二月六日生
同委員の矢田元雄氏を再任することに同意しました。

◎ 農業共済事業損害評価会委員の選任について（新、再任）
任期満了により次の方の選任に同意しました。

名）

馬場周一

下吉田三五一一二二

大正十五年十二月六日生
同委員の矢田元雄氏を再任することに同意しました。

◎ 固定資産評価審査委員会委員の選任について（新、再任）
任期満了により次の方の選任に同意しました。

名）

馬場周一

下吉田三五一一二二

大正十五年十二月六日生
同委員の矢田元雄氏を再任することに同意しました。

◎ 老健会計に（新、再任）
井上増一（新任）

西垣兼茂（再任）

武市隆雄（再任）

鈴木百夫（再任）

大脇寿伸（再任）

（県農業改良普及員）

柘植郁男（再任）

（県蚕業指導員）

武市隆雄（再任）

鈴木百夫（再任）

大脇寿伸（再任）

（県農業改良普及

57年度一般会計、国民健康保険事業特別会計、学校給食共同調理場特別会計、老人保健特別会計の決算を認定

昭和57年度一般会計、国民健康保険事業特別会計、学校給食共同調理場特別会計、老人保健特別会計の各決算書が9月13日（1日目）に上程され、収入役の説明を受けた後、決算審査特別委員会を設置し審査を付託しました。同委員会は、議会休会中の14日、16日に会議を開き、各決算書の審査を行い、20日（8日目）の本会議において委員長報告通り、全会一致で認定されました。委員には、次の5名が指名されました。（委員長＝渡辺節夫、副委員長＝桜井道夫、委員＝馬場亨、田原芳郎、井戸徳）

四、議案第五十号 昭和五十七年度老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について。

三、議案第四十九号 昭和五十七年度学校給食共同調理場特別会計歳入歳出決算の認定について。

二、議案第四十八号 昭和五十七年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について。

一、議案第四十七号 昭和五十七年度一般会計歳入歳出決算の認定について。

決算特別委員会報告

審査の経過

本委員会は、九月十四日、十五日の二日間会議を開き、付託された前議案について審査した。

一日目、各決算書につき町当局の総括的説明を受けた後、同

決算書並びに監査委員の決算審査意見書について順次各委員が

質疑を行ない、その後各委員が

それぞれの証拠書類について調

査質問を行った。

二日目、前日に続きそれぞれ

書類調査、質問を行なった後、

総括会議に入り認定について採

決した。

決定
前記議案を認定する。

昭和五十八年九月十三日、定例会において審査の付託を受けた議案第四十七号から議案第五十号までについて審査を終了したので、会議規則第五八条の規定により報告する。

留意事項

町税の滞納者については、町長以下担当者の努力は認めるがさらに適切な措置を講じ、これが解消に努めること。

国民健康保険税並びに学校給食代の未収金の滞納整理についても一層の努力をされたい。

負担金二三万円

農林水産業費 一〇三万円

● 農業委員会諸事業の経費八万円。農業振興諸事業の

経費九四万円。

消防費 一六万円

● 自治体消防全国大会負担金一六万円。

教育費 二七七万円

● 郡教連会負担金一二万円給食調理員長欠賃金二九万円海洋センターに係る諸経費五四万円。嘱託員報酬一八〇万円。

● 老人保健基金交付金返還金（主な使いみち）一九万円。
● 老人保健基金交付金返還金一一九万円。

老人保健特別会計

〔歳入〕 国庫支出金 一五万円

繰越金 一〇四万円

〔歳出〕 償還金 一一九万円

● 老人保健基金交付金返還金二九万円。

（補助金の返還）

国民健康保険特別会計

〔歳入〕 諸収入 二五八万円

〔歳出〕 償還金一万円

● 基金積立金二五七万円

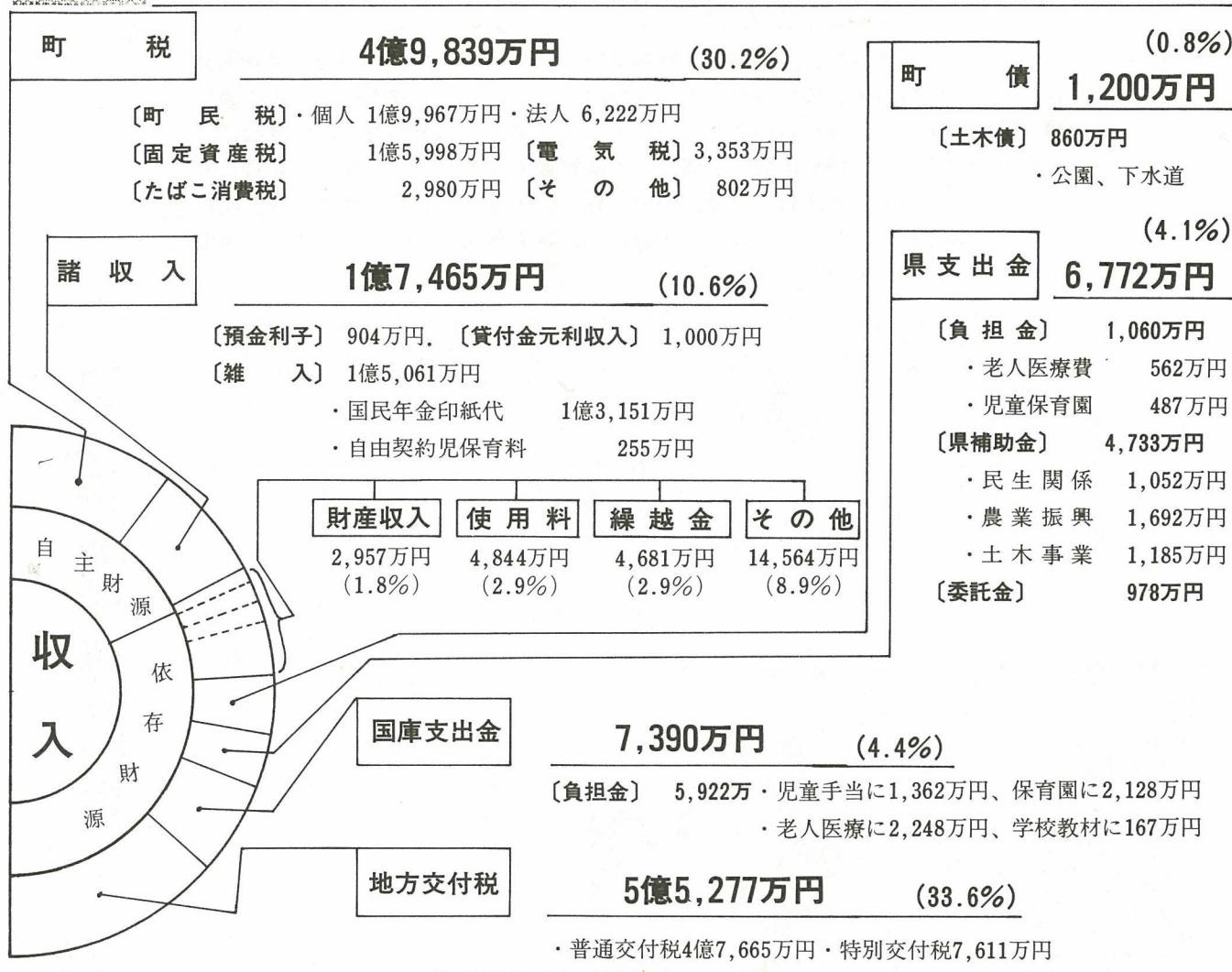


▲決算を審査する決算特別委員会

57年度

昭和57年度 一般会計 歳入総額 16億4,994万円

算 これだけ入りました(主なもの)



農林水産業費

1億427万円 (6.6%)

〔農業委員会関係〕	560万円
〔農業関係事務費〕	1,305万円
〔農業振興事業に〕	1,773万円
〔各種補助金に〕	1,308万円
〔土地改良事業に〕	4,069万円
〔同事務補助金〕	3,606万円
〔農地管理事業〕	573万円
〔林業関係事業〕	817万円
・町有林手入れ	397万円
・育林事業補助金	99万円
・森林組合補助金	30万円
〔林業振興事業に〕	1,215万円

消防費

7,517万円 (4.7%)

〔非常備消防の強化に〕	7,302万円
・町消防団員費用に	1,137万円
・可茂消防組合分賦金	5,741万円
・その他、負担金、補助金	405万円
〔消防施設整備に〕	215万円
・消防ポンプ積載車購入	156万円
・自動サイレン吹鳴、その他	19万円

議会費

4,056万円 (2.6%)

・議員報酬	2,545万円	職員給料	559万円
・議会報発行、その他	952万円		

商工費

1,310万円 (0.8%)

・商工会補助金	280万円
・小口融資予託金	1,000万円

昭和57年度 一般会計

歳出総額

15億8,504万円

昭和
決

こんなことに使いました (主なもの)

民生費

3億2,947万円

(20.8%)

- 〔老人福祉に〕
 ・老人医療費の助成に 4,416万円
 ・老人福祉事業に(健康診査、保険体育、福寿会補助、敬老事業、家庭奉仕活動)
 143万円
- 〔児童福祉〕
 ・保育園の経費 9,421万円
 ・児童手当 1,745万円
 ・工事費、屋根及びその他 192万円

総務費

2億4,611万円

(15.6%)

- 〔財政調整基金へ積立金総額 5億1,439万円〕
- 〔総務管理に〕
 ・一般管理、財政管理
 1億4,867万円
 ・会計管理、財産管理
 180万円
- 〔企画関係〕
 ・下水道事業負担金 904万円
 ・広報発行等 291万円・給料その他 1,480万円
- 〔徴税事務〕 3,569万円
 ・選挙、統計、監査事務 2,000万円
- 〔戸籍住民基本台帳〕 797万円
- ◎将来にそなえて 2,386万円積立て

教育費

2億4,414万円 (15.5%) B&G川辺海洋センター建設

- 〔学校教育に〕
 ・小学校教育 3,442万円
 ・中学校教育 1,983万円
 ・プール管理 206万円
 ・学校給食 3,057万円
- 〔体育施設に〕
 ・町民運動場用地代 7,751万円
- 〔社会教育に〕
 ・町史編さん 618万円
 文化財保護 30万円
 ・こども会、青年、婦人会など育成 73万円

土木費

1億9,779万円

(12.5%)

- 〔道路新設改良〕
 側溝整備工事費 4,693万円
- 〔道路用地買収費〕 76万円
- 〔道路維持管理〕 1,971万円
 ・舗装材料費 1,684万円
- 〔環境整備に〕
 ・中井排水路工事に 2,907万円
 ・交通安全施設に 114万円

公債費

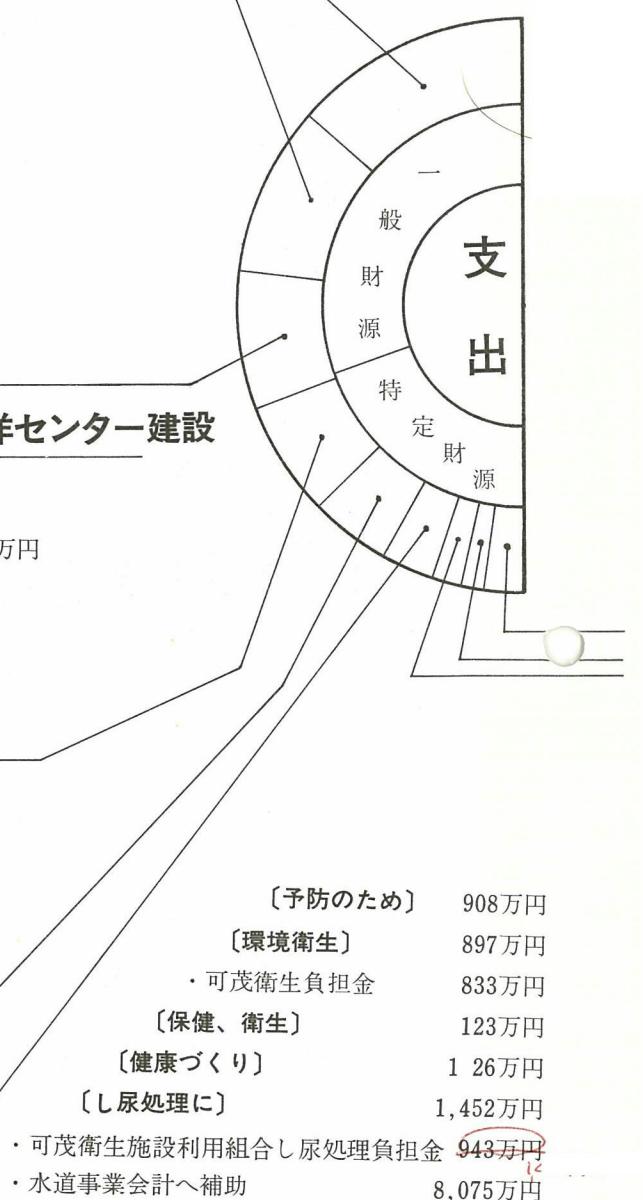
1億9,322万円 (12.2%)

- 〔町の借金〕
 ・元金の返済 7,303万円
 ・利子の支払い 1億2,014万円

衛生費

1億4,112万円 (8.9%)

- 〔保健衛生事務費に〕 3,284万円



昭和57年度国民健康保険事業特別会計決算状況

(万円未満切捨)

支出合計 2億8,021万円

保険給付費	2億4,542万円
・療養諸費	2億2,350万円
療養給付費(診療報酬)	2億1,804万円
療養費	482万円
審査手数料	64万円
高額療養費	1,941万円
その他の給付費	190万円
助産費	190万円
葬祭費	42万円
育児手当金	18万円
総務費	1,046万円
・一般管理費	868万円
・給料など人件費	440万円
・電算処理委託料	48万円
・徴税費	113万円
・議会運営協議会費	44万円
・保健衛生普及費	191万円
基金積立金	1,568万円
過年度補助金返還金	207万円

収入合計 3億705万円

国民健康保険税	1億8,510万円
・加入世帯数	1,300世帯
・加入者数	3,741人
国庫支出金	1億5,201万円
国庫負担金	1億3,245万円
・事務費負担金	795万円
・療養給付費負担金	1億2,186万円
国庫補助金	1,955万円
・普通調整交付金	474万円
・特別調整交付金	663万円
・臨時調整交付金	764万円
県補助金	58万円
・臨時特別助成事業補助金	58万円
繰入金	897万円
・一般会計からの繰入金(町補助金)	
繰入金(前年度繰越金)	3,252万円
財産収入(基金預金利子)	233万円
諸収入(預金利子)	204万円

◎収支差引残高 2,683万円…………昭和58年度へ繰越し

◎昭和57年度末の基金積立金は 5,722万8,000円

昭和57年度学校給食共同調理場特別会計決算状況

収入の部

給食費収入	6,098万2,120円
預金利子	9万1,842円
不用品売却収入	5,500円
前年度繰越金	8,300円
収入合計	6,108万7,762円

支出の部

給食材料費	6,107万9,775円
差引残高	7,987円

(昭和58年へ繰越し)

昭和57年度老人保険特別会計決算状況

支出合計 1,410万8,865万

医療諸費	1,410万円
・老人保健医療費	1,391万円
・老人保健療養費	15万円
・老人保健審査支払手数料その他	3万円
◎昭和58年度へ繰越金	104万円

収入合計 1,515万3,212円

支払基金交付金	1,108万円
・老人保健医療費交付金	1,103万円
・老人保健医療費国庫負担金	265万円
・老人保健医療費県負担金	70万円
繰入金 一般会計から繰入金	71万円



一般質問

九月定例会の一般質問は、最終日の二十日に行われ、二人の議員が当面する諸問題について町当局の考え方をただしました。

ここに掲載した質問や答弁は、紙面の都合により要約しております。

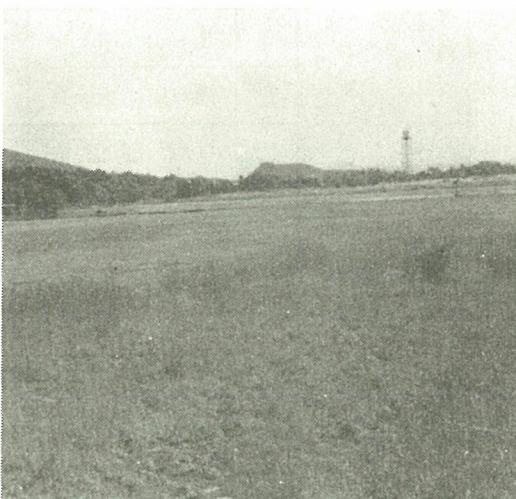
木下 静議員

大隈鉄工所用地問題

き、現在に至っておりますが、県が間違なく誘致されるかと
いう点をお尋ねしたい。

町民税の滞納者処理

協をお願いし、議員の方にご相談申し上げ、五月十九日県庁へ出向き商工労働部長にお話し申し上げ、二年以内に優秀な企業の誘致を求めておられる所であります。



▲ 大隈鉄工所工事用地

問 昭和四十四年当時、大隈鉄造(株)を誘致するということです、西柄井及び下川辺地区の地主並びに関係者の協力を得て誘致してきましたが、四十八年のオイルショックが災い致し、当会社が吸收され、この土地が大隈鉄工所の財産となりました。

それから約八年の歳月が流れ、その間、町は大隈鉄工に

対し一日も早く工場の建設を促してこられたことは敬意を表します。

大隈鉄工が可児市に大規模な用地を斡旋され、その代償に当町には、二年以内に大隈鉄工に替る優秀な企業を誘致すると県商工労働部長との話し合いがで

答 (企画室長) 四十四年の十二月に町が斡旋契約をし現在の土地は下川辺、西柄井にございます六三、七一〇平方米、石神に八、四九一平方米でございまして、大隈鉄工に対し建設を強く要望しております。

又、商工労働部長も、町が希望する優良企業を誘致すると確約されており町としても誘致に努めてきた所でございます。

答 (町長) 大隈鉄工に対し再々にわたり工場の建設をお願いしている所でございますが、大隈さんの言い分と致しまして

問 滞納整理に全力を尽すの答弁があつたが、その事実であるか無いのか町執行部にお尋ねしたい。

答 (町長) 大口滞納者については私共も出向きお願いいたしておりますが、現時点では納税されておりません。

この点について事実か事実でないかのご質問であるが、特定の人に対して具体的に公表できないのが原則であり明確に申し上げられませんが、私共が督促を行つた場合、本人は納めると言われておりますが、今後私としては十分強い決意をもつて対処します。

雄鳥川整備について

問 町内に流れる河川は数多くあり特に雄鳥川、水無瀬川はここ数年の間に土石流により急



▶ 雄鳥川の雑草

県については昭和五十九年に公共事業として整備を計ると回答をいただいておりますので、五十九年度の実施を期待しております。

答 (土木課長) 雄鳥川については、一級河川で法に基づき県知事の管理になり、昭和五十三年に完了致しておりますが、現在は土砂が非常に堆積し雑草も生えており私共も県に対しても生えており私共も県に対しても強い要望、陳情をしております。

に埋没致し雑草が伸び、一たん集中豪雨の際には水田に泥水が流れこんだ事実があり、町当局は国・県の出先機関へ早急に整備されるよう配慮願いたい。

川辺町議会 各委員会委員構成一覧表

昭和58年9月6日現在

区分		議席	氏名	住所	TEL
議長		4	高井信孝	比久見1021-3	2261
副議長		9	木下 静	下川辺302-2	4346
常務文教委員会	委員長	16	井戸 徳	下麻生1900-2	3194
	副委員長	1	馬場 亨	下吉田471-1	3889
	委員	4	高井信孝		
		11	松岡 要	中川辺537	2244
		15	古田 隆	下麻生124	5090
厚生経済委員会	委員長	7	吉田 岩雄	中川辺516-11	2053
	副委員長	14	桜井 道夫	石神379	3603
	委員	8	林 武男	上川辺708	3380
		9	木下 静		
		10	辻 武史	上川辺833-4	3490
土木委員会	委員長	13	渡辺 節夫	下麻生98-4	5119
	副委員長	6	田原 芳郎	西柄井506-1	4414
	委員	2	若井 静香	鹿塙349	4732
		3	井上 増一	福島750	4187
		5	福田 雅良	中川辺1558	4563
		12	日下部 信夫	下川辺102-2	4330
その他委員会	区分	委員長		副委員長	委員
	議会運営委員会	渡辺 節夫		吉田 岩雄	木下 静
					井戸 徳
	議会報編集委員会	渡辺 節夫		吉田 岩雄	高井 信孝
					木下 静
					井戸 徳

問 町史編さんは十年前から行なわれているが、予算の伴なう仕事でもあるので今までの予算と現在どの程度進んでいる

答（教育長） 具体的に町史編さんにかかったのは昭和五十年からで予算としては二千九百万円だと思います。町史の今後の方針としては資料が大島領の見直しとして資料編と致しております。資料編と致しましておりません。

では上下巻の二巻に分け、町史の発刊の説明書を今年度に配布致し、五十九年度上半期に資料編の発刊を致し現在内容については事实上編集は終わつております。

問 現在、公用車は二十数台
あるが、特殊車以外の車輛は今後購入の場合は軽自動車に切り

答 (町長) 経費節減のため
今後購入に際しては軽自動車で
対応できる課の車は十分検討致
したい。

か説明を願いたい。

田原芳郎議員

下二巻通信編一巻で通信編とし
て六十四年の前半に発刊の予定
で進めております。

替える考えはないか

答（町長） 経費節減のため
今後購入に際しては軽自動車で
対応できる課の車は十分検討致
したい。

※※※※

記 集 後 編

■ かわべ議会報 第二十一号をお届けします。

■ 九月一日より私たち議員十六名が皆さんのご信任を得ましたが、これから四年間いろいろとご指導を賜りますようお願ひ申し上げます。

■ 議会活動について、ご意見ご批判などありましたらご遠慮なく議会事務局までお寄せください。

■ 次の議会定例会は、十二月中旬の予定です。

■ 定例会の傍聴は、どなたでもご自由にできますので、前もつてご連絡ください。

■ 議会事務局は役場の三階にあります。